

平成27年7月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

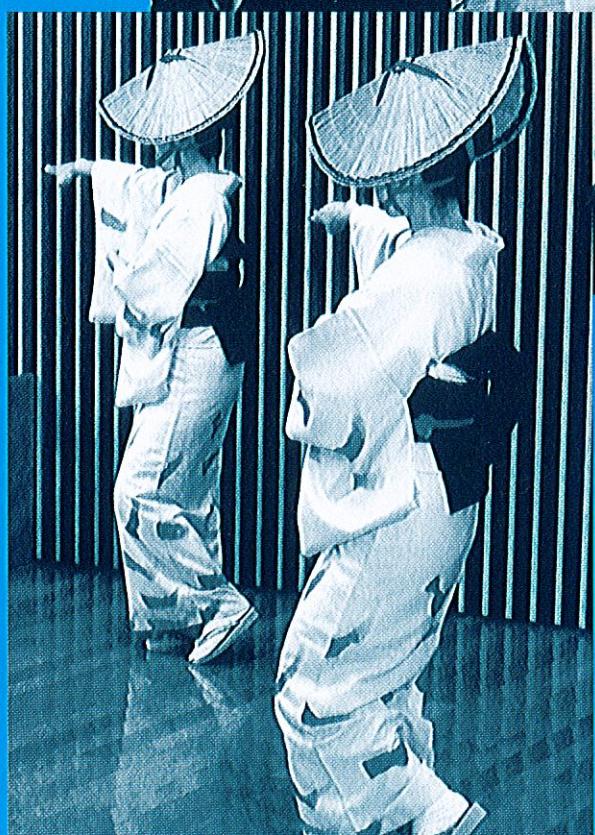
夏  
第129号

# かちあい

責任者 坂田 英夫 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部  
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 3951-9941 Fax. 3951-9310



阿波踊り



越中おわら節

好評だった3月イベント  
『日本のおどり文化教室』より  
舞踊集団菊の会

3月7日(土)

# 落合第二地域センター

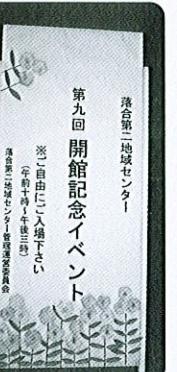
## 第九回 開館記念イベント

(土)七日(日)に開催され、延べ六三一名の来場がありました。

好天に恵まれた六月六日  
玉盆栽・茶の湯の体験コーナーの他に、行政コーナーも含めて二十一団体の展示コーナーがあり、車椅子の方やお年寄りの方も多く来館され、プローチや苔玉盆栽、植木をうれしそうに持ち帰られる姿が印象的でした。

今回は二日目に行われた式典は、来賓の方々の挨拶の一部に続く二部では、栗原明美さんのピアノ演奏で「トロイメライ」「ノクターン」など十一曲を楽しむことができました。

午後には、吉住区長も来館され、約一時間各コーナーを見て行かれました。



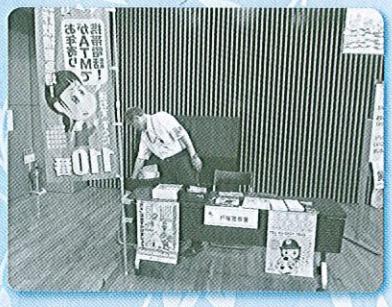
《ピアノ演奏》佐藤 千里さん



《マリンバ演奏》栗原 明美さん



吉住区長



戸塚警察署



新婦人けやき班絵手紙



ねんど細工の会



新宿区更正保護女性会



葛が谷公園サポーター地域猫班



落合第二地区事前復興まちづくりを考える会



シルバー人材センター落合第二地区班



川柳 けやき会



薰風句会



茶の湯いけ花教室



落合第二地区民生委員児童委員協議会



落合第二地区協議会



まくらめの会



絵画くらぶ おちあい



けやき荘 レクの会



フラワー みちの会



真墨会



コミュニティ「おちあいあれこれ」



行政相談委員会



落合短歌会



みどり

### 落合第一地域センター平成27年度行事予定

28年	27年	7月4日(土)	七夕コンサート
3月5日	1月6日	12月10日	料理教室
(土)	(土)	(土)	カラオケを楽しむ会
文化講演会	新春日本の遊び	手芸教室	カラオケを楽しむ会
			センターまつり



新宿消防署落合出張所



落合保健センター

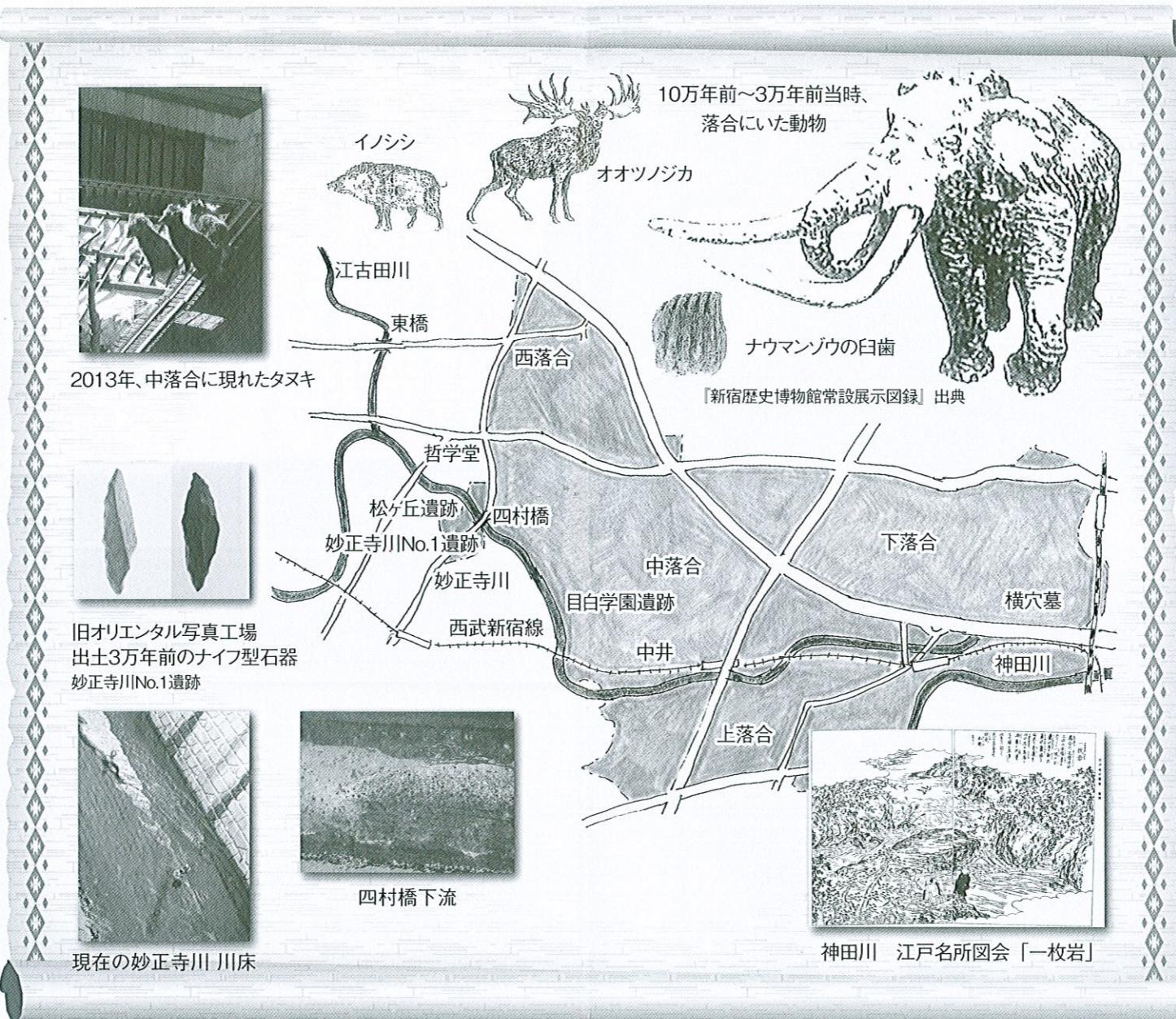


みどり土木部交通対策課

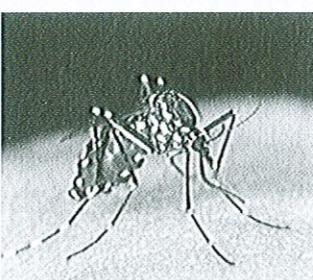


新宿区明るい選挙推進協議会(落合第二地区)

# わ < わ < 落合



## △落合地区高齢者クラブ連合会福祉大会



国立感染症研究所HPより  
<http://www0.nih.go.jp/niid/entomology/pictures/albopictus/albopictus.html>

**十万年前に武藏野は生まれた**

十万年前、地殻変動により、浅い海だった古東京湾が陸地化して、「武藏野」が生まれました。海だつた痕跡を探つてみましょう。

上落合二丁目に住む塚田幼乙さんは小学生の時、落合水再生センター工事の掘り土の山から、一枚貝の化石を見つけました。「落合新聞」昭和四十年八月号によれば、下落合横穴墓の地下1m深くからハマグリ、ホタテ、巻貝などの化石が掘り出されました。

そして陸になつたばかりの武藏野に、周辺の赤城山、箱根山などたくさんの火山が盛んに噴火して火山灰が砂塵となつて厚く積もり、落合あたりでは数mの赤土「ローム層」になつたのです。山に降つた雨が長い年月をかけて地下にしみこみ、西が高く東に向かつて低くなる武藏野では、標高四十mあたりの湧水池を水源とする妙正寺川など

が合流して荒川に流れ込み海に注ぎます。

石神井川の茂呂、鈴木、尾崎、神田川の高井戸などの遺跡で三~四万年前にさかのぼる旧石器が続々と発掘されています。つまり驚くべきことに、旧石器人が生活の場としていた川岸も川の流れも今と変わりないし、川はすべてを海に押し流したのでしょうか。妙正寺川N.O.1遺跡のほとり四村橋から下流の妙正寺川の川床は工事をまぬがれ古い岩盤を見るることができます。神田川を描いた「落合一枚岩」(江戸名所図会)はこの岩盤のことだつたのかもしません。

(戸津和子)

\*本稿に当たつて、新宿区立新宿歴史博物館 後藤理加氏、中野区立歴史民俗資料館 榊木志野氏にお話をうかがいました。次回は三万年前~一万年前です。



警察署生活安全課内藤防犯係長、新宿消防署落合出張所片吉所長、新宿区高齢者クラブ連合会福社大会の来賓である新宿区高齢者福社課斎藤課長、戸塚長の御挨拶の後、各クラブの演技が披露された。今年は上落合・下落合地域交流館の参加もあった。日頃積み重ねた練習の成果が遺憾なく發揮され、熱のこもつた演技に拍手が鳴りやまない中、成功に大会を終えた。

## 第一回 十万年前~三万年前

落合、十万年タイムトラベル

### △ナウマンゾウと旧石器



#### △デング熱から身を守るために



西落合のナウマン象の臼歯・  
発見・昭和五十年九月頃  
西落合四丁目の中野通りの水道工事のたて穴工事の際に発見された。出土品は落合第六小学校へ寄贈された後、保管等を考慮して中央図書館(新宿歴史博物館の前身の郷土資料室があつた)へ移管されたという。

私たちは氷河時代に生きています。といつても、現在は、繰り返されてきた氷期の最終「ヴュルム氷期」が一万余り前に終わつたあとの間氷期にあります。ひとが落合に住むようになったのは、三万年以上も前のことです。

昭和五〇年代の落合で貴重な二つの発見がありました。昭和五十九年十一月、哲学堂公園の隣に洪水対策調節池建設のため新宿区西落合と中野区松ヶ丘にまたがるオリエンタル写真工場跡地を緊急発掘したところ、三万年前にさかのぼる後期旧石器の小さな石のナイフが二個と十四個の黒曜石

剥片が発見されました。貯水池の名前をとつて妙正寺川N.O.1遺跡と呼ばれます。

これまで、西落合で発掘された、ナウマンゾウの臼歯。このゾウが落合にいたのは人がやってくるずっと前、十万年前のことです。西落合四丁目に住む篠田邦子さんは町内の川口孝七氏が「道路工事で発見された」と興奮気味に話していたことを覚えています。妙正寺川N.O.1遺跡で発掘された石器とともに新宿歴史博物館で常設展示されています。

昨夏七十年ぶりに代々木公園を中心に国内で約一六〇人がデング熱を発症した。新宿御苑も閉鎖され大きな社会現象になつた。六月七日、日本感染症学会市民公開講座「デング熱からあなたの身を守るために」が開かれ、参加した。

デング熱とはデングウイルスにより起る熱病で、ウイルスを持つ蚊(ネッタイシマカやヒトスジシマカ)が人を刺す時に起る。症状は三十八度以上の発熱、頭痛(目の奥の痛み)、筋肉や関節の痛み、発疹が特徴。五~七日すると熱は下がり、通常はそのまま回復する。しかし一部の患者は重症のデング出血熱を起こすことがある。

昨年流行した原因として、マカの生息域が拡大したことなどが考えられる。

②海外から帰国後に発病する患者が増えたことなどができる。

放置しておけば、今後の地球温暖化と、ますます人間の交流が盛んになる結果、再流行が繰り返されるだろう。

ヒトスジシマカは五~十月頃の日の出直後から日没前に吸血する習慣がある。この点を踏まえて、私たちにできる予防法としては次の二点を挙げることができる。

①蚊の発生源をなくす: 不要な水たまりをなくす。空き缶やペットボトルを放置しない。植木の受皿の水を捨てる。排水溝などのボウフラを駆除する。

②蚊に刺されない対策: 蚊の多い場所では長袖長ズボンを着用。露出した皮膚には昆蟲忌避剤を塗る。蚊取り線香や殺虫剤を用いる。

国内流行を繰り返さないよう早期から予防対策をとることが大切とのことだった。(高阪三枝子)

今年も落合地区高齢者クラブ連合会が区内五地区のトップを切つて、六月二日(火)落合第一地区センターにて福祉大会を開催した。

当日は天候にも恵まれ、二〇〇名を超える来場者を迎えて盛大に催行された。

来賓である新宿区高齢者福社課斎藤課長、戸塚警察署生活安全課内藤防犯係長、新宿消防署落合出張所片吉所長、新宿区高齢者クラブ連合会福社大会の来賓である新宿区高齢者福社課斎藤課長、戸塚長の御挨拶の後、各クラブの演技が披露された。

今年は上落合・下落合地域交流館の参加もあった。日頃積み重ねた練習の成果が遺憾なく發揮され、熱のこもつた演技に拍手が鳴りやまない中、成功に大会を終えた。



## ご入園・ご入学 おめでとう

平成27年5月1日現在



小学校	人数	幼稚園	人数
落合第一小	84	落合第三幼	15
落合第二小	55	落合第四幼	11
落合第三小	54		
落合第四小	59		
落合第五小	18	中学校	人数
落合第六小	35	落合中	106
		落合第二中	66



◇日時 十月二十五日（日）  
◇会場 落合第六小学校

### ◇競技種目



輪投げ・ビーチボーラーバレー・ユニカール・パン食い競争など  
◇申し込み  
九月上旬から落合第二特別出張所で申込用紙を配布します。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

## ミニティスポーツ地区大会に ご参加ください！

★落合第一地区青少年育成委員会

## 石津新会長が就任

六年間会長を務められた谷口俊顯前会長から、石津清高会長に改選になりました。

### ご挨拶

地域の子どもは地域で守り育てる。未来ある子どもたちの成長を願い一年を通して色々な行事を実施しておられます。子どもたちに喜んで参加してもらえる様に活動をして行きたいと思います。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 第十六回 夏休み 目白学園遺跡フエスタ —ふれて・歩いて体感・まちの遺跡—

【日 時】 七月二十五日（土）午後一時～五時

【会 場】 目白学園（正門より入場）

【内 容】 土器づくり教室・編布（あんぎん）づくり教室・まが玉づくり教室・

火おこし体験・触れる遺跡展示コーナー・歩いてまちの歴史と高低差を体感する「ブラおちあい」（午後三時三〇分出発予定）

【講演会】 午後二時から「新宿の縄文人」入場無料 後藤理加氏（新宿歴史博物館学芸員）

【問合わせ】 目白大学地域社会学科 電話（5996）3158



好天に恵まれた五月二十八日（木）、落合第二地区協議会「高齢者の生活を考える分科会」は、都立神代植物公園で歩行会を実施しました。

三十八名の参加者は、ボランティアガイドの詳しい解説を聞きながら楽しく散策しました。



落合第二地区協議会では、介護予防に役立つ七月二十九日（水）、「おたつしゃ運動出前講座」や、高齢者対象の十月五日（月）、「茶話会」などの催しを企画しています。詳しくは、落合第二特別出張所（電話（3951）9177）へお問い合わせください。

◆神代植物公園を楽しく散策  
落合第一地区協議会  
「高齢者の生活を考える分科会」

